

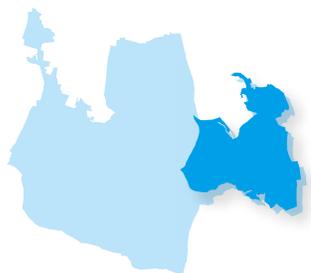
第5編
地域別計画

東部地域
北部地域
南部地域
西部地域

東部地域



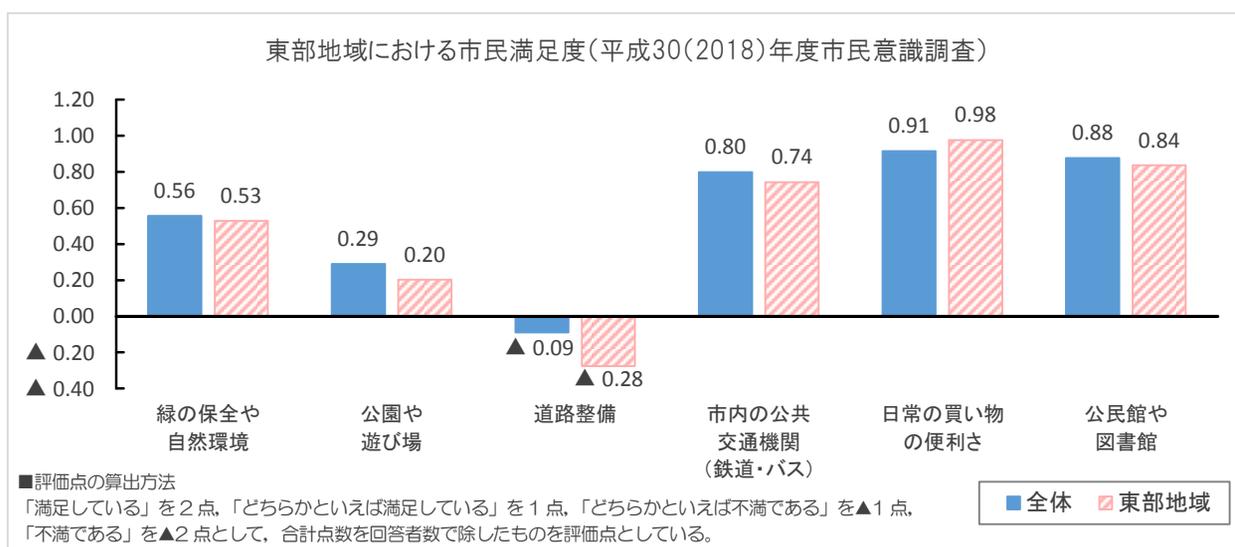
東部地域のデータ



地域範囲	菊野台1～3丁目，東つつじヶ丘1～3丁目 西つつじヶ丘1～4丁目，入間町1～3丁目 仙川町1～3丁目，緑ヶ丘1～2丁目 若葉町1～3丁目
地域人口	58,814人（平成31（2019）年1月1日現在）
地域世帯	31,102世帯（平成31（2019）年1月1日現在）

東部地域の現状と課題

- 東部地域は、都心に近い交通の利便性と仙川や野川の水辺環境に加え、農地や崖線の緑に恵まれたうるおいのある都市環境を有する地域です。
- 桐朋学園や白百合女子大学、武者小路実篤記念館やせんがわ劇場などの教育文化施設が立地するほか、仙川商店街をはじめ商業施設の集積度も高く、にぎわいと芸術・文化を身近に感じられるまちづくりが進んでいます。
- つつじヶ丘駅周辺では、市民の利便性を高めるため、都市基盤整備と合わせた神代出張所の代替機能の確保など総合的な視点でまちづくりに取り組んでいます。柴崎駅周辺については、自由通路を含む橋上駅舎化を軸として、鉄道横断施設を見据えた交通環境の改善に向け、地域や鉄道事業者との協議を進めています。引き続き、柴崎駅周辺地区の将来像を地域と共有しながら、都市計画道路の整備をはじめ、抜本的な解決に向けて、柴崎駅～つつじヶ丘駅間の連続立体交差化について、国や東京都と協議、調整を図る必要があります。
- 市民意識調査では、「日常の買物の便利さ」に対する満足度が高く、生活面での利便性が評価されています。



東部地域におけるまちづくりの方向

◆駅周辺のまちづくり

つつじヶ丘駅周辺は、神代出張所の代替機能の確保とともに、都市計画道路や自転車等駐車場の整備を含めた総合的な視点からまちづくりを進めます。また、柴崎駅周辺については、駅周辺における利便性や安全性の確保など、鉄道横断施設を見据えた交通環境の改善に向け、都市計画道路の整備など、まちの将来像を見据えた中長期的な視点から、住民参加によるまちづくりを進めます。

◆崖線樹林地の保全

良好な街並みの形成とともに緑豊かな都市環境の創出に向け、緑ヶ丘みんなの森や仙川崖線の保全に取り組むほか、入間町周辺地区における地区計画制度を活用した崖線樹林地の保全を進めます。

◆地域ゆかりの文化を生かした事業の展開

郷土の歴史・文化遺産と武者小路実篤の文学・芸術活動等について、資料の調査・研究・収集・保存を進めるとともに、展示や講座・講演会を開催して普及・啓発に努めます。



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号) 30都市基交著第249号、30都市基交測第100号